

# 書評 Reviews と 紹介

北区西ヶ原在住 武田允男家伝存  
文書群調査報告書（上）  
〔文化財研究紀要 第5集〕

東京学芸大学近世史研究会・北区史編纂調査会近世  
史部会・北区教育委員会  
東京 北区教育委員会発行 1991. 4  
p 94~109 26cm ISSN0914-0557

本書は「調査報告書」という名の示すとおり、目録だけではなく調査報告の部分が充実している点に特徴がある。

埋蔵文化財の調査同様、古文書の調査においても、原秩序の記録がなされることが、ようやく意識されるようになってきてはいるが、ここまでそれを深化させた「調査報告書」は稀である。

特に評価すべき点としては「四 保存状況の記録」において「第1表 武田允男家文書の保存状況（位置関係と主な内容）」と「第1

図「武田允男家文書の保存状況スケッチ」をのせ、より視覚的に保存状況がわかるようになっており、いつでももとの状況が復元できるようになっていることである。

また「従来、こうした包紙は、整理の際に一括されてしまうことが多かったが、このようなものの中から文書群の伝存の歴史を知る情報を得ることも可能であり、今後は一点ごとに整理を行い内容をより明確なものにして示す必要」との示唆があるとおり、白紙の包紙類に至るまですべて、整理がなされている。包紙類の扱いについては、現在様々な方法がなされていると思うが、ここでの扱い方の意識や考え方は今後一つの指針となろう。

目録部分は、今回、所蔵者の意向により、文書群全体を編年順に並べているが、ここまで多くの視点に基づいた整理、調査を行っているので、今後はさまざまな項目の索引を付すなど検索方法を充実し、より有機的な史料の活用がはかられることを期待したい。

長佐古美奈子・学習院大学史料館